

基礎看護学（基礎看護学領域）

1 構 成 員

	平成 28 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
病院教授	0 人	
准教授	1 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	2 人	(0 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	1 人	
その他（技術補佐員等）	0 人	
合計	0 人	

2 教員の異動状況

片山 はるみ（教授）（H24.4.1～現職）

鈴木 美奈（准教授）（H23.7.1～H25.3.31 助教；H25.4.1～現職）

村松 妙子（助教）（H20.9.1～H25.3.31 教務補佐員；H25.4.1～現職）

下川 唯（助教）（H25.4.1～H27.3.31 教務補佐員；H27.4.1～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 27 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	2 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	3 編	(3 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
 - 1. 鈴江毅, 片山はるみ, 岡田倫代, 藤川愛, 辻よしみ, 宮武伸行, 坂野紀子, 依田健志, 吉岡哲, 平尾智広: 自殺予防に向けたメンタルヘルスアップ・コーディネーターに関する研究, 四国公衆衛生学会雑誌, 61(1), 133-137, 2016.

インパクトファクターの小計 [0.00]

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
 - 1. Katayama H, Suzuki M, Muramatsu T, Shimogawa Y, Mizushima Y, Hiramatsu M, Nakamura K, Suzue T: Effect of stress relief of the footbath using bio-marker in Japan, International science index conference proceedings, 275, 2016.
 - 2. Ito Yuichi, Katayama H: Use of the Flicker Health Management System to evaluate fatigue in nurses after night shift work, The 15th Hamamatsu-Kyungpook joint medical symposium, 2015.
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(5) 症例報告

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
 - 1. 下川唯, 片山はるみ: 中堅看護師の役割に対する「やりがい感」と「負担感」の同時認知と精神的健康や仕事意欲との関連, 日本看護科学会誌, 35, 247-256, 2015.

インパクトファクターの小計 [0.00]

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
 - 1. 鈴江毅, 片山はるみ, 岡田倫代, 藤岡秀夫, 森亨子, 徳田恒治, 岡田恵子, 根本幸子, 平尾智広: 職場における自殺予防のためのメンタルヘルスアップ・コーディネーターのコンピテンシー研究, 地域環境保健福祉研究, 51-57, 2015.
 - 2. 鈴江毅, 片山はるみ, 岡田倫代, 藤岡秀夫, 森亨子, 徳田恒治, 岡田恵子, 根本幸子, 平尾智広: 職場における自殺予防のためのメンタルヘルスアップ・コーディネーター養成講座の有効性, 地域

4 特許等の出願状況

	平成 27 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 27 年度
(1) 科学研究費助成事業（文部科学省、日本学術振興会）	2 件 (330 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件 (0 万円)
(3) 日本医療研究開発機構（AMED）による研究助成	0 件 (0 万円)
(4) 科学技術振興機構(JST) による研究助成	0 件 (0 万円)
(5) 他政府機関による研究助成	0 件 (0 万円)
(6) 財団助成金	0 件 (0 万円)
(7) 受託研究または共同研究	0 件 (0 万円)
(8) 奨学寄附金	0 件 (0 万円)

(1) 科学研究費助成事業（文部科学省、日本学術振興会）

鈴木美奈 挑戦的萌芽研究 「バイオフィルム形成モデルの確立及び看護ケアにおけるカテーテル関連感染予防の検討」 平成27年度～平成28年度 130万円

片山はるみ 基盤C（一般）「コンピテンシー・モデルに基づく看護職者のための倫理学習プログラムの開発と評価」 平成27年度～平成30年度 200万円

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表，総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
(3) 学会座長回数	0 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	1 件
(6) 一般演題発表数	2 件	

(1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長

5) 一般発表

口頭発表

Ito Yuichi, Katayama H: Use of the Flicker Health Management System to evaluate fatigue in nurses after night shift work, The 15th Hamamatsu-Kyungpook joint medical symposium, 2015.

ポスター発表

Katayama H, Suzuki M, Muramatsu T, Shimogawa Y, Mizushima Y, Hiramatsu M, Nakamura K, Suzue T: Effect of stress relief of the footbath using bio-marker in Japan, International science index conference proceedings, 275, 2016.

(2) 国内学会の開催・参加

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

片山はるみ：日本描画テスト・描画療法学会 理事

8 学術雑誌の編集への貢献

	国 内	外 国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成 27 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	1 件
(3) 学内共同研究	0 件

(2) 国内共同研究

基盤研究 C（一般）代表：吉岡さおり（京都府立医科大学）「終末期がん患者の在宅移行を促進するジェネラリストナース教育プログラムの開発」250 万円：片山はるみ（研究分担者）平成 27 年度 20 万円受け入れ

10 産学共同研究

	平成 27 年度
産学共同研究	1 件

- 共同研究「唾液分析の看護学への応用」、浜松ホトニクス株式会社、2017 年 3 月 31 日まで、代表者：基礎看護学講座 片山はるみ、分担者：基礎看護学講座 鈴木美奈

11 受 賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績、新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道